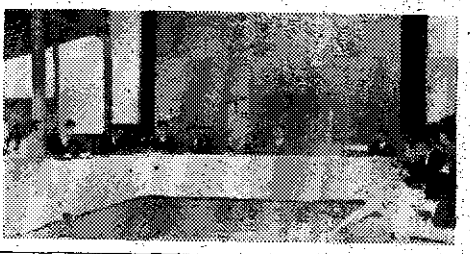
新潟県公民館月報

発行人
新潟縣公民館連絡協議会
新潟縣教育會
社会教育課内（電話7954番）

五月号



實生活にもとずいた放送を

超短波プロ編成會議開催

全国注目の的となっている超短波教育通信は、その後県教育委員会で着々と準備を進めているがさる五月十一日午後一時より新潟市越佐自治会館において第一回の超短波教育通信プログラム編成委員会を開催した。委員は欠席者二名を除いた二十八名の好出席で、まず教育次長の挨拶から開始し、県社会教育課長の趣旨の説明、社会教育課猪股主事の「青年学級の実施について」同小野塚主事の「教育放送実施準備状況の説明」の後、各学課目ごとに別れて分科会を開いた。終って映画「青年学級」を見て七時散会した。この委員会での問題点はあくまでも生活面からとり上げられた課目のプログラムを編成し、実生活にもとずいた教育を行うとするのがねらいの様であった。

委嘱をうけた三十名の委員の中には「青年学級」という勤労青年の教育の場合について側存知ない方もおり、又そこで学ぶ青年の年令層、学力等について色々疑問もあり、各分科会は活潑な討議が行われた。その結果「青年学級」の実地調査や、希望学習内容の調査も行われることになり、大体五月一杯にプロの大項を決定することを申し合わせた。

『写真はプロ編成会議』

論壇

学校教育をこえて進む社会教育

小中学は義務教育である。しかし公立のほかに私立もあるので、どちらに入るかは本人の自由である。もっとも実際問題として、多くの地方では小中学には私立がないから全部が公立に入いるわけである。しかし入いるには入いったが、まじめに勉強しない子どもたちもあれば問題児とよばれ長期欠席者とよばれる子どもたちもいる。ここに大きな問題があろう。

社会教育に従事する人たちにとって、もっとも大きな困難の一つは、どれほど計画に参加する者があるかについて見通しをつけかねる点であろう。そして予定より参加者が少い場合には社会教育の困難と悲哀を痛切に感じさせられるであろう。しかし、この点にこそ社会教育の意義と特色があることを深く考えるべきである。

公立の小中学においては計画がどのようであれ、就学義務のため児童生徒数は確定しているところが社会教育においては、どれほどの人数が集るかは未知数である場合が多い。しかも、その計画に魅力がなければ、どんなに喝物入りで宣伝しても参加する人は少く、たとえ参加してもすぐに脱落してしまうであろう。

一般に新教育という立場からみて、私立小中学校は公立小中学校よりはるかに進歩的でありさらに社会教育は学校教育より一そう近代的であると思う。参加者の興味、関心、問題にもとずかない教育計画がまったくのナンセンスなのは、社会教育関係者であれば皆も承知のことがらである。計画は参加者が協力して、みずから立案し、みずから実践するものでなければ動かない。このことが学校、とくに公立学校では今なおはっきり理解されていないようである。校教学育に関係する一人として、最近の社会教育の前進と苦斗に大きな期待をよせたい。社会教育の進路は、やがて学校教育のありかたに根本的な反省を促がさないではおかないであろう。

（新潟大学教育学部助教授）
小林虎五郎

修了証を出す公民館職員講習

県社教六月の行事予定

新たな角度と構想に基いて昭和二十八年度を出発もした県社会教育課は六月の行事予定を次のように立てて、その実現にあたっている。

社会教育研究大会、七市の社会教育関係者の参集を得て高田市に於て開催、参加者は例年のごとく教委の社会教育事務担当者及び広く社会教育関係団体、施設、職場等に関係ある指導者とする。

公民館、図書館職員講習会、職員の質的向上を図るため、充実した長期講習を行う。これは二泊三日を前後二回に分け前期に図書館職員を併せ新潟で行う予定である。尚この収容数は公民館五〇名図書館三〇名で修了証を県教育委員名で出す様計画している。

婦人問題研究会、中央講師を招き新潟に於て研究討議の予定、

社会学級指導者研修会、婦人教育指導者研修会、公民館運営審議会研修会、この三者を併せて行う。これは例年の社会教育研究大会に変るもので、成人教育の基本問題を研究し、且つ横の連絡を保ち、とかく等閑視されがちの活動の充実を図らんとするものである。この会場は超短波とも関連し、超短波の範囲内は一日二会場、範囲外は一泊二日、九会場を予定している。

その他 **研究青年学級指定**、**視聴覚教育研究会**、**教育映画評価研究会**（社会教育指導者研修会と併せもつ）、**通信教育指導者手引書作成指導者研究会**、**社会教育担当者会議**等計画している。

第二回全国公民館大会

日光で六月四、五、六日

六月四日、五日、六日、の三日間栃木県日光町に於て文部省、全国公民館連絡協議会、栃木県、栃木県教育委員会の主催、全日本社会教育連合会等の後援で第二回全国公民館大会が開催される。

これは全国三万余館の総力を結集し、行財政の面、運営の面、特にこのたびは地教委設置にともなう今後の公民館の在り方等の広汎にわたる問題について研究協議すると共に公民館発展の具体的方策を採求する目的をもっている。

参加者資格者は、都道府県公連役職員、公民館職員（館長、主事等）社会教育委員、公民館運審委、都道府県教育委員会関係職員、市町村教育委員並びに関係職員、市町村会、その他である。

先ごろ各県よりの提出された議題は次の様である。

- 公民館単行法の制定について、（千葉、埼玉）
- 青年学級振興法の促進について（石川、岩手）
- 公民館建築の補助並び起債許可について（新潟、石川、福井、神奈川、岡山、奈良）
- 公民館職員の身分保証について（宮城、岡山、奈良）
- 公民館で購入する教材器具の物品税の免除について（岩手）

超短波教育放送は

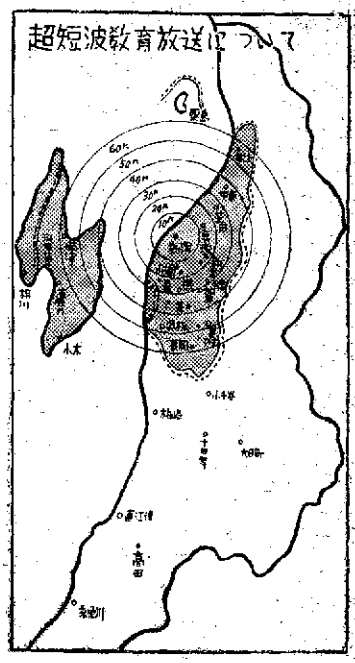
教育の機会均等がねらい

「輸送に対して航空術の果す役割と全く同じ仕事をラジオが教育に対して行っている」といわれているが、この文明の利器を社会教育に活用して、今年度より県教育委員会の超短波教育放送が実施されることになった。二月十八日付で、教育通信局定局開設の予備免許が与えられ、一方、県議会でも、この事業の重要性を認め、昭和二十八年度教育事業中唯一の新規事業として関係予算を通過させたのである。二年前より教育の為めの無線局設置の許可、不許可について電波管理委員会との間に交渉が繰返され、事業のための予算措置についても、断えざる努力が続けられて、ここに年来の計画が日目を見ることになったのであが、この間、熱心な開拓地青年や県連合青年団の県議会への請願、陳情が行われ、昭和三十六年十月県会では「電波による青少年教育施設設置に関する陳情」が受理されている等県民特に青少年層の側面的な運動が行われて、この新しい教育事業の実現促進に多大の寄与をしたのである。

さて、この教育放送のねらいは兎角空念仏に終り易い教育の機会均等の達成のため電波に一役を担わせようとするのである。近時、社会教育活動は、新しい社会の要望を担って活発に展開され本県においても勤労青年少年を対象とし、或は婦人層を主体とし、更に一般成人のために積極的な教育活動が行われている。しかしながら一面、その実態を調査するとき、その教育計画が断片的でありまた地域の生産性からも遊離した型で行われている傾向も指摘し得るのであって、こうした傾向をもつ原因としては、指導者の不足、計画性の貧困、資料の不足等が考えられ、これらの障害の排除こそ本県社会教育の当面する重要課題であってこの放送教育はこれらの課題を解決して、特に経済的に地域的に勉学の機会に恵まれない勤労青少年及び一般成人に対し、教育の機会を均等に提供し得るように、電波の機能を活用しようとするのである。

本県における中学卒業後二千名までの勤労青年の総数は約二十万名であるがこれらの勤労青少年に対する教育として主要なものは市町村で開設される青年学級であり、いま昭和二十七年十二月三十一日現在の調査によると、県下三八四市町村中報告のあった二七六市町村における学級数は一〇〇時間以上の学級数三〇二、一〇〇時間以内のもの三二一、合計六二三、受講者数は男一三、九九〇、女一三、二〇八合計二七、一九八名である。この教育放送はこれらの青年学級の充実を援助すると共にこの放送の開始によって市町村の開設青年学級数が飛躍的に増大し、その内容においても一段の向上が認められるようになることを期待しているのである。

なお、青年学級のみでなく社会学級その他の市町村の教育計画にも活用出来るようにこの放送は提供されるのである。



カットは超短波教育放送聴取範囲図

教育放送計画の概要

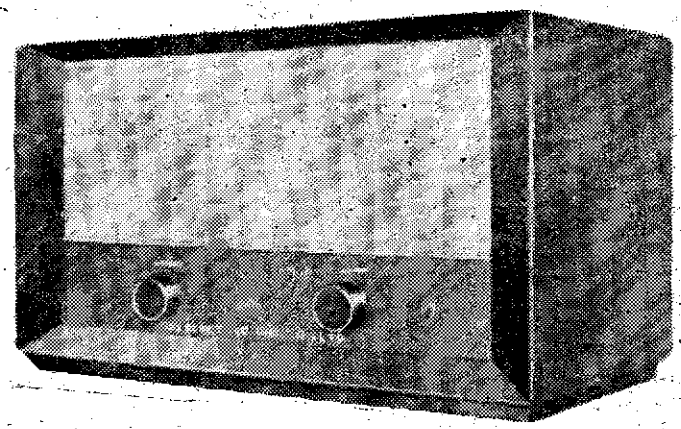
主要対象は勤労青少年

◎教育放送の内容と実施方法

放送の内容をどのようなものにするかについては先ず対象から決めてかからなければならないが、この点では、本年度県社会教育課においては全事業の中心を青年教育の振興に関連せしめることに基き、この方針に基いて放送の主要対象を勤労青少年とし、これら勤労青少年のために市町村で開設されている青年学級向けをこの放送の主要内容とし、社会学級向け及び専門講座をこれに附加することにした。そこで先ず関係市町村（岩船、佐渡、北蒲、中蒲、南蒲、西蒲、三島、古志、東蒲、新潟市、長岡市

教育放送の超短波受信機は
最古の歴史と最新の技術を誇る

OKIへ



OKI

F.M 超短波受信機

沖電気工業株式会社新潟出張所

新潟市上大川前通り九番町　電話（新潟）9321・7459

三条市、新発田市、新津市の約一八〇市町村ごとにおける青年学級の実態調査を実施した。その結果青年学級受講者男女別%、職業別男女別%、年令別受講者数、開設期間別%、開設時間別%、教育課程について詳細に知ることができたが更に現地についての調査を実施し、これらの調査結果に基いて、放送期間、主要対象年令層、放送時刻、放送時間、教育課程等が次の如くに決められた。

放送期間―一年を春季、秋季、冬季の三期に分ける。

四、五、六、七月を春季
八、九、十、十一月を秋季
十二、一、二、三月を冬季

主要対象年令層―十五才より二十才迄の男女勤労青少年を年令的ねらいの中心とする。

放送時刻、放送時間―放送時刻は夜間を主とし、冬季の農閑期は午後七時より一〇時迄、秋季は八時より一〇時迄で、放送時間は基礎教科課程、職業課程は二〇分、インフォメーションは十五分とする。（適宜同じ放送を昼間に再放送する予定）

教育課程―基礎教科課程、職業課程、生活課程、インフォメーションの四種目とし、

基礎教科課程は　国語、数学、社会、科学、歴史

職業課程は　農業、工業、商業、家政

生活課程には、時事問題、生活改善、保健とレクリエーション、（音楽を含む）、青年の生き方等が考えられる。

インフォメーションには、例えば現地報告（スポーツ、文化活動等の行事の現地録音）知名人とのインタビュー、告知板、職業案内、読書案内）青年の声が考えられるが、このインフォメーションの時間は受講者によっても大いに活用されなければならない。

文化施設
＝公民館に樹を植えよう＝

大井一星

一坪の庭ももたない街なみの家にすくっているせいか、私は公民館の建築に一文句つけたくなる。それは公民館とか、図書館とか、さらには学校でも保育所でも、こうした文化的な建物の設計にあたっては、かならずその周囲に、多少の樹木をうえられる、花壇の一つぐらい設けられる、若干の土地のゆとりをもたせるということである、などというとすぐ、きりぎり一杯の予算で建物だけでも十分といえない際に、そんなぜいたくな設計はとてものぞめないさ、と一口に反対されそうに思えるが、けれど、ものごとはすべてそんなきりつめ一方のものとも限られない。

ないだろう、同じ予算の中で何とか工夫をこらしてみる余地が全然ないと頭からきめてかかることも早やすぎる、何も広大な敷地を必要とするのではない、建物の周りにたかだか幅三間の空地をもとめればそれで結構である、その空地に青年団員や婦人会員の手で樹木をうえる、花園をつくる、それが果してどれほどの予算の膨脹になるだろうか？梅の木がうえられていれば季節わすれずうぐいすがたずねて来るだろう、草花に蝶が舞ってくれるだろう、読書につかれた眼を、囀ってあいた耳を、ひとときの散策で楽しませてくれる、植えられた樹木の種類に適当にくみ入れられるべきもので、これによって画一的な教育効果をねらおうとするものではないことは再言したい。

町村でたてられる教育計画の中に

【県社会教育委員長】

秋季プロ編成上の基本方針

さて、右の放送内容及び方法の原則に基き差当り秋季、冬季のプログラム編成上の基本方針をたて、次の如く秋季、冬季プログラムを二応編成した。

なお、放送開始は八月一日の予定であるがこの放送はあくまで市

一、一日コースとする
二、八月から九月までを一期、九月中旬から十月までを二期とする。十一月を三期とする。
三、職業課程に重点をおき、一般教養および生活課程、並びにインフォメーションを加える。
四、商業、工業、家政は全期を通して行い九月中旬から十月末にかけて農業を除く。

秋季プログラム
（八月、九月中旬まで、及び十一月、一般むけ）

	I	II
月	農業（八、〇〇～八、二〇）	農業（九、〇〇～九、二〇）
火	商業	一般教養も含めて生活課程
水	農業	インフォメーション
木	工業	〃
金	農業	〃
土	家政	〃
日	農業に関するインフォメーション	〃

（九月中旬から十月末まで）

	I	II
月	商業（八、〇〇～八、二〇）	一般教養も含めて、生活課程（九、〇〇～九、二〇）
火	工業	インフォメーション
水	家政	〃
木	商業	〃
金	工業	〃
土	家政	〃
日	商、工、家政に関するインフォメーション	〃

冬季プロ編成上の基本方針

一、基礎教科、職業、生活、インフォメーションの中、三種が一日のプロの中に入っていること
二、基礎課程は、職業課程に結びつけられたものであること
三、職業課程は、二三男対策を考慮して、工業の与え方等を工夫すること
四、四種課程の中、職業課程に重点をおくこと
五、時間配当の比率は、基礎教科一、職業課程二、生活課程〇・五、インフォメーション〇・五とする
六、放送形式には、なるべく変化をつける
七、専門課程は昼間行う（指導者向）
八、放送時間は午後七時開始、十時終了
九、基礎課程二十分、職業課程二十分、生活課程及びインフォメーションを十五分行う

冬季プログラム

	I	II
月	国語　農業（七、三〇～七、五〇）	インフォメーション（九、〇〇～九、二〇）
火	社会　工業	青年の生き方
水	数学　農業	インフォメーション
木	科学　商業	インフォメーション
金	国語　工業	インフォメーション　生活改善
土	社会　農業	時事問題
日	歴史　家政	保健、レクリエーション、

◎プログラム編成委員会

プログラムが変化に富んで魅力があり、地方の要求に合致するようなものであるためには、学校関係の専門家、民間有識者の協力を求める必要があり各科目別に委員を委嘱した。

なお、第一回プログラム編成委員会は五月十二日（月）午後一時より越佐会館で開かれ研究協議がすすめられ、いよいよプログラムも本格的編成段階に入った。五月十五日には、プロ委員の要望により弥彦村青年学級の現地視察が実施された。

◎テキスト

青年学級その他の学級、講座における教育放送の活用を効果的ならしめるためには、資料類が充分準備されなければならないが、テキストは基礎教科課程と職業課程に分冊し、それぞれ指導者用、受講者用を放送開始一カ月前に作成する予定である

◎設備について

送受信機を県庁屋上に設置することより発信する予定であるが、新潟市より半径六〇キロ以内の聴取可能市町村では送受信機の購入準備を御願い致したい。（受信機の価格は約七〇、〇〇〇円）

なお、聴取の困難が考えられる地域では試験電波発信中に充分に御試し願いたい。

◉将来の計画

今年度は新潟市を中心に半径六〇キロの地域を聴取範囲として放送を実施するが、今後更に一周波の割当をうけ、可及的速かに弥彦山上に中継所を設置することによって全県下に放送網を拡充する方針である。

【筆者は超短波教育研究部主任　小野塚忠義氏】

アンケート

公民館運動

・一九五三年度の反省と
・一九五三年度の目標

岩船郡村上町公民館

成功したもの

一、運営審議会が非常に活発になったこと。

二、この会から社会教育委員会設置の声が強くなり、遂にこの委員会が設置されるに至ったこと

三、運営一般が敢発的、思いつきでなく、漸次組織的計画的になってきたこと。

本年の目標

一、施設（職員を含む）を解放して各地区へのサービスを積極的にし、出来るだけ町民に運動が浸透するよう努力する。

二、各町内に一名づゝ公民館推進委員を委嘱し、之を足場に各地域に運動を展開する。

北蒲原郡中條町公民館

成功したもの

一、一五〇時間の測量技術講座を実施し、測量士補受験者に大いに役立って喜ばれた。

二、五〇時間の自動車講座をもち自動車運転手受験者に四名の合格者を上げることが出来た。

三、ラジオ組立講座

四、六月（毎日曜）から八月（毎朝）までラジオ体操会をひらき皆勤者を二二六人も出した。

不成功だったもの

帰入団体の育成に努力したがいろいろのいきさつがあり成功を見なかった。

本年度の目標

一、青年学級の拡充刷新による青少年教育の重視

二、視聴覚教育の充実

新潟市白山公民館

成功したもの

初等簿記講座、季節料理講習会、読書輪読会の育成、町内巡回成人講座、洋裁講座

本年度の目標

・少額の受講料（又は参加料）を納めさせた方がよい、住民の考えが徳をしたと考えるから。これは他と比較しての考えだ。

・わが公民館も発足して四年にもなり、レクリエーション的な官伝時代から実質的なものが理解されて来たようだ。

新潟市立入舟公民館

成功したもの

一、乳幼児の健康診断、婦人のみの衛生（健康保健所の協力を得て隔月毎に実施地域の好評をうく）

二、老幼男女合同の民謡研究会、少女の洋裁講習（目下会員は漸増の状況にて会場狭溢止むなく入舟小学校屋内運動場を暫用中）

三、地区婦人会員の結集と活動（区域啓蒙の一役を荷負い婦人教養の向上の原動力の観がある）

不成功だったもの

一、政治的講座、その他高度の教養的講座に対し、聴講者が常に僅少過ぐること

本年の目標

一、少年の不良化の防止と対策

青年期に達せんとする少年の精神的激化と並行して家庭環境による当然なる不良化とグループの調査（本人の反感を醸成することなく暗に調査を穏密にそれらの形体行状をたしかめ、一つはグループの疎散を策し、一つは本人の万善なる誘導効果を如何にして挙げ得るかの問題の研究である）

中蒲原郡五泉町公民館

成功したもの

冬期巡回講座と簿記講習会

不成功だったもの

各種団体との連絡

本年度の目標

青年教育の拡充強化

中蒲原郡曽野木村公民館

成功したもの

・衛生講座

特に婦人を対象として産児調節等を科目にとり入れて実施したのが成功した。

不成功だったもの

・農村二、三男対策研究

本年度の目標

・農産物増産諸資料調査の完成

西蒲原郡内野町公民館

成功したもの

一、職業講座

水産講習会においては同講習受講者において国家試験に九五%合格した

二、世論によった公民館活動により保育所の設置

三、社会教育講師団の編成と地域の活動は非常に活発である。

不成功であったもの

一、青年学級（従来のマンネリズムに陥りすぎて何の新しさも見られなかった。

本年の目標

二、各種団体と緊密な連繋により生活経済に結びついた活動を強力に展開したい。

古志郡宮内町公民館

成功したもの

一、素人のど自慢コンクール

内心蔭に残念に思う、一般大衆

青年と婦人の協力が強味

○○県教委激賞の母親学級○○○

運営にも活動にも優秀な成績をあげながら独立建物をもたないばかりに文部省の表彰を逸している公民館は数多くあろうがこの公民館もその一つである。中学校の一教室の半分を衛生室にその残りの半分を中学校長室と公民館事務室と図書整理室、更に図書の閲覧室を兼ねて小会議室にも早がわりするという良寛さんの鉄鉢以上の効用を発揮しているこの公民館は多忙な兼任の公民館長の他に三名の専任職員をもって年間数百回にのぼる行事や会合を上手に手捌き、その上年中無休の図書室の運営をあつかっている。

ここの公民館運動の一番の強味は青年団と婦人会とがっちりしたスクラムを組んでいることである。運営審議会と専門部会の機構に両団体が運然と溶け込んで、一万二千の町民を相手に或は大文化祭に、町民大運動会に、夏季大学にと次々素晴しい成果を積んで進む公民館の車の両輪はいつもこの両団体である。沢山の優れた事業の中でも次の三点が最も光っている。

一、母親学級の自治的運営

町の母親を対象とする学習期間一カ年のこの定期講座は毎年三百に余る学級生を有し、学級運営から経費の調達、講師の選択まで一切学級生の積極的自治によるもので、曽て県の教育委員が視察の際激賞を受けたものである。

二、視聴覚教育の組織的活動

町内八名のナトコ技術者を中心に視聴覚教育研究会を組織し、テープコーダーの併用とまって町内十四部落に間断ない公民館運動をつづけている。

三、約四千冊の図書室

講入、寄贈を併せ約四千冊の蔵書を抱え、夜間を除く年中無休の閲覧と無料一般貸出しを継続し少数の職員は図書の選定、整理、回収、製本等に嬉しい悲鳴をあげている。

四月より中学校も独立校舎に移転を始めたので近くその完成と相俟って次第に町の公民館建築に対する理解も深まりつつあることとて、郡の社会教育のセンターとしての糸魚川町公民館の今後の活躍が期待されている。

写真は母親学級の修了式

公民館訪問

④西頸　糸魚川公民館

はこの様なものを希望するかと思うと公民館運動も路遠しの感がある。

二、珠算講座

不成功だったもの

成人講座

青年を混ぜて約五〇〇名に世論調査を行った結果、あらわれた問題を取り上げたのだが不成功だった。世論調査の結果には期待が持てない。

北魚沼郡湯ノ谷村公民館

成功したもの

1、青年学級の職業教育

2、村民相互親和行事（村民運動会等）

3、生活改善運動の実施（改良カマド構築）

不成功だったもの

あまり多く事業を計画したため全般に手が届かなかった。

本年度の目標

1、青年学級の充実

2、生活改善運動の実施

長岡市公民館

不成功だったもの

講座、講演会に意をもちえ現在出来る限りの宣伝連絡を計っても出席者の少なかったこと

本年度の目標

・物をきく会（成人講座）の推進

・世論調査と各種団体との連絡調整

中頸城郡津有村公民館

成功したもの

広報活動が地について来た。

不成功だったもの

青少年の補導が部市近接のため、希望の範囲が広く、其の他経費等の都合で充分に徹底出来なかった。

本年の目標

1、公民館に対する有識者の関心が深まり公民館の資材が充実した

不成功だったもの

一般に公民館の仕事、必要性等

新潟県公民館運絡協議会会則

（昭和二七・四・一第四、五条改正
昭和二八・四・一〇第一条改正）

第一条、本会は新潟県公民館連絡協議会と称し、事務所を新潟市県学町二、新潟県教育庁社会教育課内におく

第二条　本会は県内各郡市公民館連絡協議会の連絡体であって、公民館運動並びに運営の健全なる発展に資するを以て目的とする。

第三条　本会は前条の目的を達するため左の事業を行う。

1、公民館運動に関する宣伝啓蒙

2、公民館運営に関する研究調査、其の他本会目的達成に必要なる事業

第四条　本会に左の職員をおく

会長　一人
副会長　三人
幹事　若干名
評議員　若干名

任期は評議員を除き一ケ年とする、但し再選を妨げない。

第五条　会長、副会長は評議員会に於て選出する。

評議員は各郡市公民館連絡協議会の会長とする。

幹事は評議員会の承認を経て会長が委嘱するものとする。

第六条　会長は本会を代表し、評議員会を召集して、その議長となる。

副会長は会長を補佐し、会長事故ある時はこれに代る。

幹事は会長の命により庶務、会計等に従事する。

第七条　評議員会は予算、決算等其の他重要事項を審議する。

第八条　本会の経費は各郡市公民館連絡協議会の負担とする。

附　則

この会則は昭和二十五年五月二日より施行する。

中頸城郡中郷村公民館

成功したもの

一、各種社会教育関係団体との提携特に連青の発足を促す

正しい民主的組織を営むと共に全村民の情操純化を図ること

高田市公民館

成功したもの

新生活運動として公営結婚をとり上げて婦人会、青年会と強力に進めてきましたが漸く本年になってこれが軌道にのって来居りますのでこれを育生したいと念願しています

不成功だったもの

公民館誌が定期的に出さなければならないのですが仕事に追はれて出来なかったこと

本年度の目標

本年は各種講座を年間の計画のもとに実施したい、更に視聴覚教育の振興を図りたい

東頸城郡安塚村公民館

成功したもの

冬期婦人特別教養講座

時局問題、農業、家庭衛生、防犯、公民一般、生活改善等の時間割で一、二、三の三ケ月間八回を実施したが、対象の婦人層がいつも五十名を下らなかったので成功したものと思う。

不成功だったもの

男女を対象として青年学級出席者が少なかったため、科目の制定が青年層にぴったりしなかったため

本年度の目標

1、男女青年団、婦人会員等に対する教養の向上

2、館報発刊を通して村民よりの村政の協力

佐渡郡小木町公民館

成功だったもの

青年学級講座、ラジオ組立講習

本年度の目標

郷土民の政治意識の昂揚、職業指導及び普及、各種講座の開設視聴覚教育の普及及び徹底

提案

△公民館の予算も決定し、事業計画も決定した。あとは実行のみが残っている。

△それにしても『本年の重点目標は？』と問われたら、自信をもって答えられますか。

△人手も不足、施設も貧困な公民館にあっては、あれも公民館、これも公民館、それも公民館では公民館予算のコマ切れ製造業者になってしまう。何をなしたか判らないうちに予算だけは終点に到着。

△そして青年団には『公民館は公費を頂くためのもの』村民には『何如なる行事にも顔を並べているもの』位しか残らないことであろう。

△こんなことではならない。少くとも、重点目標を定めて乏しくともプラスするものが残らなくてはなるまい。

△重点目標は青少年教育の振興である……と自信を持って答える方もあろう。結構である然し、その為めに何をなすのか、何を残さんとするのかが明確でない。

△もっと具体的なもの、有形無形を不問、少しでもプラスするものを残すことを考えるべきではないだろうか。それが公民館の育つ所以ではないだろうか。

図書案内

青年双書

— 9集 —
全日本社会教育連合会編
青年戯曲集
A6判 520頁 ¥250

演劇の高く美しい本質を認めこころのかてと致しましょう本書は従来の興業形態から脱却した清新な興味溢れる演劇を集録しみんなで上演出来るよう企画しました特に初心者でも容易に出来るよう、指導者の上演手引と、舞台装置家の装置図とその手引を付けてあります。

— 10集 —
西田泰介著
みんなのレクリエーション
A5判 247頁 ¥170

現代生活はいよいよわずらしさを加えて来ましたが、それに新しい歴史を築むことは不可能です。原始社会から現代まで、青年はいかなる地位に置かれ、どの様に生きて来たか、豊富な資料に基いて書かれた本書はもっとも具体的な青年の歴史です。

— 11集 —
桜井庄太郎著
日本青年史
A5判 186頁 ¥170

より美しく社会を作ろうとしたときそその社会の歴史を無視することは不可能なことから現代まで、青年はいかなる地位に置かれ、どの様に生きて来たか、豊富な資料に基いて書かれた本書はもっとも具体的な青年の歴史です。

— 近刊 —
私の若い頃
（假名）
B6判 250頁 ¥

各界著名十人の若き日の勉学、読書、煩悩、歓喜等の万華鏡。執筆者は、金森徳治郎、木村禧八郎、山本安英、中村吉衛門、天野貞祐、山室民子、岡本太郎、坪田譲治、等の諸氏

御注文は各郡教育庁出張所社会教育担当者宛御申込下さい。若しくは新潟市寄居町越佐自治会館内新潟県官報販売所宛御申込下さい。

書き終ったら再び算盤を

○○○ 国庫補助申請の注意 ○○○

二十八年度の国庫補助金申請に文部省より指示があった。県よりは既に各地方教委宛通知済であり、また各郡市の社教担当者間でも打合せ会が行なわれたから承知の筈である。

補助金は今回で第四回に当るから大凡の事務は判っていると思うが毎年繰返される不備、不行届の点について説明してみる。

第一に計算違いである。事に金額のみでなくすべての数字において計算違いが実に多い。その原因として考えられるものに記載がキタナイことが先づ考えられる。補助金を頂戴しようというのだから達筆である必要はないが一字一字丁寧に書いて貰いたい。そしたら計算も間違が少くなると思う。さらに記入し終ってから訂正したときは、全般に亘って、算盤を入れ直いたい。

第二に明細書の不備である。今年度は明細書についても詳しく例示したから、判って頂けたと思うが、文部省ではこの申請に凝き詳細な統計をとっているから、記入もれのないように注意されたい。

本年度は分館でも該当あらば提出

次に本年度において違って来たの備考欄等が詳細に細分化されて来た点も昨年より異っている。

点は、(1)申請書は分館でも該当事項があれば提出することになった。

従って、その際は集計表を附さねばならない。但し分館で申請する際でも項目は少ないと考えられる際に図書費とか、体育具費位のものであれば本館分のものとして申請する方が却って好都合であろうどうせ金は市町村局に来るのであって、その公民館に来るのではないからである。なお用紙にも自己制限あるから注意。

訂正の時間も考えて早めに提出

十進分数法で表現してあれば直ちに書けるようになった訳である。

視聴覚具費、体育具費などでは取付工事費や、消耗的な物品購入費は認められないが、その他は単価数量、購入年月日などを明細に記入した明細書を添えて頂かれたいことになる。

(1)職員について

先づ職員は専任に限るのであり地教委職員で公民館職員を兼ねているものは含まれない。但しこの逆は結構である。本俸のみに限り諸手当は含まない。月給及び勤務月数欄は例示してある通り昨年一ケ年の昇給順にして各々の在勤月数を記入すること。(公民館に就職してからの勤務月数を書くのではない)従って年度始めから専任であれば合計で十二ケ月となる訳である。年度の途中で就任し或は退職した場合は含その廿七年度内の勤務月数を記入して頂くことになる。

(2)定期講座開設費について

この項では科目毎に講師名、担当日数、時間を明確にせねばならないし、費用の内訳も詳細記入せねばならない。そして講座毎に日数時間経費を記入し、最後に何講座で何日間、何百時間、経費はいくらと集計することになる。

講座は勿論、社教法施行令に示す通り(イ)定期講座の総計が一会計年度に十八日以上三十六時間以上であること(ロ)一単位講座が一日二時間以上で連続しまたは連続しないで合計三日以上であることが必要である。即ち三日間の講座が六あれば該当するが、五であれば十八日未満であるから、それらには全々補助の対象にはならないことになる。また、二日のものがたとえ九以上であったとしても、これは(ロ)により該当しないことになる。

(3)図書その他の購入費について

この項には先づ明細書を作って頂きます、そしてその合計額を本書の図書、視聴覚具、体育具の三項目別に記入して頂きます、これは社教法施行令の第三条の規定により当然に挙げられた項目です、但し同令の様式には規定されていません。

(4)その他の注意事項

申請者名は市町村教育委員会名で公印を捺して下さい。公印を忘れないように願います。

締切期日は文部省が六月末日でそれまでに県で集計をやり評価もなして送るのですから早めに御願致します。

申請額五万円以下は受けられない

因に昨年度の国庫補助金は別表の基準により支出されており、申請額が五万円以下のところは頂戴出来ませんですからその積りで御算用願います。

昭和27年度国庫補助金支出基準

申請額	補助額
5万円未満	補助せず
5万円以上～10万円未満	2,000円
10 〃 ～15 〃	2,500円
15 〃 ～20 〃	3,000円
20 〃 ～25 〃	4,000円
25 〃 ～30 〃	5,000円
30 〃 ～35 〃	6,000円
35 〃 ～40 〃	7,000円
40 〃 ～45 〃	8,000円
45 〃 ～50 〃	9,000円
50 〃 ～100 〃	10,000円
100 〃 ～200 〃	10,500円
200 〃 ～300 〃	12,000円
300万以上	15,000円

図書室

◆NDCとは

公民館運営費国庫補助申請を六月末までに提出することになったが図書その他の教養器材器具購入費」欄中、前年度購入図書については、八区分に分類してその冊数と金額を算出することになっている。　これは日本十進分類法（NDC）の十分類を少しかえたものであることを御承知の上、次の要領で分類したらよいと思う。

1　辞典類
2　哲学宗教（哲学、心理学、道徳、宗教）
3　歴史地理（歴史、伝記、地誌、紀行）
4　社会科学（政治、法律、経済、統計、社会、教育、風俗、軍事）
5　自然科学（数学、自然科学、医学、工学）
6　産業（産業、農林、水産、商業、工業、交通、家事）
7　文学芸術レクリエーション（文学、日本文学、外国文学、美術、芸術、運動、演芸娯楽、語学）
8　雑誌

今後図書を整理する場合、なるべくNDCによって分類してゆくことが図書室発展のため望ましいと思う。

書評

◆今日のドイツ　篠原正瑛著　三省社　二七・六　二一〇円

その副題に「破壊と分割の苦悩を超えて」とあるように、英、米、仏、ソ連の四つの占領地区に分けられたドイツには、四つのさまざまな不安と苦悩と希望と将来がひそんでいる。これらを思想の面や現実の当面する問題の面や、青少年の面などから分析したもので、苦悩を超えて立ちよろうとする生々しいドイツの現状報告である。

◆光ほのかに　アンネ・フランク著　藤澤嘉藏訳　文芸春秋新社　二八・二　二五〇円

第二次大戦が起りオランダがドイツ軍に占領された時、ユダヤ人であったアンネ一家は隠れ家生活を余儀なくされた。当時十三才の少女アンネが、ナチの秘密警察に発見されるまでの二ケ年間、特異な環境で生活する八人の人間の相互関係、外界から隔離されている気持、種々の苦痛等を鋭い機智とすばらしい観察力で日記に記述したもので平易な日記文を通して人間の精神が終局において崇高な輝きを見せるものであることを知らせてくれる。

ところどころ

佐渡河崎公民館で講座補助規則作る

佐渡河崎公民館では、県下唯一の老人講座を開設して注目をあびているが、このほど公民館講座補助規則をもうけて、村民の自主性にもとづいた運営が計られている。

講座の内容は、老人講座、成人講座、婦人講座、青年講座で、申請内容は、講座の名称、主催、目的、期日、対象、希望等で毎年三月一日までに公民館長に提出することになっている。

長岡で縣視聴覚研究大会は
レクリエーションも見もの

県教委、中越地区視聴覚ライブラリー、長岡市教育委員会の主催本会の後援で来る六月九、十、十一日の三日間、長岡市公民館で「新潟県視聴覚教育研究大会」が開催される。

講演には朝日新聞論説委員伊藤昇氏の『世相の中の教育』が予定されているが、この大会の研究主題はかの三題である。

一、マス、コミュニケーションに対する教育的関心の深化

二、視聴覚教具の技術的進歩に対する理解とその教育的利用

三、教育映画の質的向上と、その生産促進

なお、リクリエーションとして九日には北魚沼郡之内町の「大の坂」、「祇園ばやし」、十日には長岡市外成願寺の「神楽」、十一日には刈羽小田村の「鯰子舞」が予定されている。

遂に通つた青年と婦人の要望
＝映写機と録音機を購入＝

北魚小出町公民館

先ごろ、突然公民館運営審議会の開催中、各地区の青年代表が、そろって青年と婦人の声として映写機と録音機を購入してもらいたいという九百五名の署名入り請願書を社会教育委員、教育委員、町長、町会議長あてに提出したことがある。

これは小、中学校と協同の映写会が毎月十四日間定期に催されていたが、これ以上回数を増加するにはどうしても映写機を購入してもらわねばならない。又録音機も月に一週間だけ那須聴覚委員会のテープコーダーを借用して講演を吹きこんだものを巡回していたが、大切な講演録音等に思う存分活動出来ないので、この二つを昨年度の公民館予算に計上したが町予算の関係上流されてしまったため、今年こそは是非共理解して戴き購入してもらおうと熱然として立ち上り、教育委員会と社会教育委員会が開かれる機会に二日間で嘆願をして請願したものである。

この熱意に動かされた公民館運営審議委員会は、即座に兼務の社会教育委員会を開き、審議した結果、教育委員会に報告した。教育委員会ではこの件を非常に重視し議案として審議し、採択となったが遺憾なことには町財政の貧困のため、教育予算に編入して予算化することは不可能になった。しかしながら青年は請願者の要望を向としても満たして戴きたいと紹介議員六名をたてて再び強力に町議会に請願を行った。

その結果、遂にその熱意が通じ議会において満場一致で可決し、請願者側に凱歌が上ったのである。

この様な熱意は町人口約一万に対し、映写技師が五十一名も居り映画技術団を組織して無報償で努力しているような、めざましい視聴覚教育ぶりの有様からもうかがわれるのである。

なお、これが審議された議会では議場は青年、婦人の傍聴者で埋め尽くされる熱心さであった。

行事計画希望調査
小千谷婦人会動く

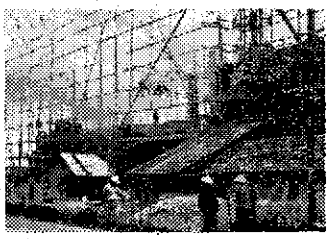
北魚小千谷町婦人会は会の活動を活発化するため本町ほか十七ケ町内、一、二五〇名の会員に各町内別の行事計画の希望調査を行ったが、このほどその結果がまとまった。

希望のトップは各種講習会の開催でとくにプトンの編入れ講習は十三ケ町内が希望しているほか、活花、料理希望がそれぞれ十二ケ町内もあり、家庭の雑用を合理的に処理し、生活を豊かにする時間を見い出そうとする意欲が高まって来たものと注目されている。

また、政治講演会開催希望が十ケ町、各地の物価調査、工場見学などを目的とする見学旅行希望が八ケ町あることは婦人の政治経済への関心が高まって来たことを示しているが、依然として『大勢に順応』という無気力組も三ケ町内あった。

縣立図書館工事進む
出来た二階組立

総工費四千五百万円をつぎ込んで建設中の県立新潟図書館は本年二月十八日に白山グラウンドわきに着工したが、この図書館は五七・〇九五坪、鉄筋コンクリート三階建てで内部には防音装置をも



【写真は工事中の図書館】

った一般、中学校、児童閲覧室、郷土資料室、県政、人文科学、自然科学研究室、貸出し文庫、視聴覚ライブラリー、音楽室等が計画されており、目下、九月六日の完成予定日を目指して二階まで出来上っている。

完成後の社会教育に及ぼす影響は大きいものと期待されている。

東京で音楽演劇講習会
文部省が指導者養成

文部省では地方青少年音楽及び演劇指導者に正しい音楽や演劇を理解させ、健全な普及向上を計りその技術的知識を修得させるため音楽では六月一日から五日まで五日間、藤原歌劇研究所において村田武雄、藤原義江、小牧正英等の諸氏を講師として、「音楽行政の概要」、「音楽教育の重点」、「室内楽及び歌唱、合唱指導法」「音楽文化史」「バレエ」等にいたるまでに、演劇では五月二十六日から三十日まで五日間、文部省試写室と劇団俳優座で久保田万太郎、吉山杉作、千田是也、伊藤熹朔等の諸氏指導のもとに上演までの技指導や舞台装置、照明、経営等について各々指導者講習会が開催される。

本県からの参加者は目下のところ音楽では九名、演劇では三名が予定されている。

下越ライブラリー
運委会、役員も改選

四月二十八日、午前十時より新発田市幼稚園において、下越地区ライブラリー運営委員会を県社教より増井、佐藤の両主事を迎え開催されたが、今たびは新たに教委代表、郡社会教育担当者を加えることになり、役員改選の結果、委員長に近新発田市長、副会長に本間一郎氏、高橋勝一郎氏、会計監査に平田実氏、杉山甫平氏、矢川正義氏がそれぞれ選ばれた。

佐渡離島史料特別調査行わる

五月二日より五日迄日本学術会議近世庶民資料調査委員会の佐渡離島特別調査が行われ、史料編さん所藤岡虎之助氏、明大教授伊木寿一氏、文学博士森克己氏はじめ都下各大学教授七氏、地元より新大其他より調査員が参加して、郡内河崎村橋氏蒐集史料、佐高内故秋野博士の舟崎文庫、真野町山本家所蔵文書などを調査した。その結果金山関係始め農漁村の人身売買されたが、一行中の森博士は九州離島と比較して佐渡は人文の上ではるかに恵まれているがそれだけ古記録類の散失度は高い点を指摘した。調査の結果は「越佐研究」に掲載される予定である。

自在かぎ

▲上越のO町では、お祭りの余興騒ぎで街頭でのストリップ踊りが大分問題になっている。特別青少年への影響甚大を心配しているようだ。正しい世論で反響の拡まることは喜ばしい。▲N市でも全国専門店祭りの巨大さの中に目を奪うストリップショーがあった。▲東京あたりの出し物で街頭を練廻してヤンヤの喝采を博そうとの手である。これが少しも問題になっていない。あながち地域差だけの事でないらしい。▲N市での人出はざっと三〇万のだといわれて居り、その点青少年達の見物の数ではO町は比較になるまい。青少年問題ではN市の感度がニブイという事にもなろう。▲先日の県社会教育委員会議でもストリップ論議が出た。淡々としてN委員の説こうとする処に傾聴すると、「私は東京銀座で観たが発達した肉体の美しさに驚いたね。これから女性はああいう立派な体にならなければ嘘だ。家に帰って老妻や嫁に話したが体格もあそこまでゆけば申分ない。」▲さすがに目の付けどころがいい、と感心したり、しかし一般はどうかなと心配したり。▲ストリップの年齢に与える功罪なども研究してみることも笑えぬ現実のようである。(静)

紹介

実地指導を重視した
南蒲 葛巻村青年學園

葛巻村は頭潟原の南端、隣は見附、今町に接し、人口約三七〇〇、面積約一三平方キロの小村ながらも果樹栽培の盛んな処として、特に桐葡の産地として知られている。そしてこの村の中央には木の香もまだ高い中学校が田園の中に立って居り、村のどこから見ても直ぐ一目でわかる。ここに今、これから御紹介しようとする葛巻村青年学園がある。

この青年学園の誕生の動機は昨年中学校卒業生のうち、勉学の意欲を持ちながらも進学出来ない生徒二十数名の自発的な意志による村青年の修養道場を目ざしたものだという。今年になってから新卒業生の入学を迎え、二年目の現在では約四〇名にふくれ上り、真剣に勉学し、週一回の授業日にも殆ど休む者がいない程である。初め中学校に設置されたものだが、今後の発展を期して今春から公民館に移管され、公民館事業の一分野として、また青年団活動成人教育につながる村の総合的教育計画の一環をなすものとして、強力な組織の下に新発足することになった。其の陰には生みの親、中学校長はじめ中小学校職員、老齢ながらも青年指導に極めて熱心な公民館長や村当局及村有識者の方々の力を見逃すわけにいかない。

さて毎週金曜日の午後、ここに集って来る青年の様子を見ると男子は全部自転車に乗って登校する。別に距離は遠くはないのだがと不思議に思われる。理由を聞くとこうだ。「授業は教室内よりも実地指導を重視し、実物について勉学し、実際についての改善進歩を図る」のであると。成程生徒は二時間程度の一般理論の学習が済むと直ぐに農業改良普及員（講師）の縁の自転車を先頭に予め計画された農家を訪れる。村内至る処に生きた教材が転がっており、村内至る処によき指導者が得られる訳だ。苗代田の研究、果樹の剪定整枝、養豚の研究、台所改善、茶道生花の研究等々…。そして直接生産にたずさわる彼等青年の目は生々と輝いてノートに、質問に、討議に、研究に、磬色の迫るのも忘れて真剣な学習活動が繰り拡げられる。そこには明日への生産意欲の向上と、日進月歩の若き者の精神的向上が見出されるのである。（南蒲社教主事　相沢宏）

地教委に職員をとられた
南魚の公民館

教育委員会ができた。全国津々浦々までの結構な趣旨によって、この山に囲れた南魚の地にも、中にはなはだしい選挙戦を展開してまで生れた地方教育委員会である。私達片すみではあるが、教育の仕事につかせてもらっているものにとってはこの制度に対して否も応もなく実に悦びにたえないものとの考えにはいまもかわりはないが、さて現実となると一がいに有難がってもいられない事柄の多いのに、閉口したり、おどろいたりしている。

過去三、四年間どうにかこうにかまとめて来た公民館の職員のほとんど全部が、地教委の事務員にたて取りされてしまった。

混乱はいつの世にもあるかもしれないが、地教委の生れた南魚の現状は、地教委が生れたら事務費が少くなると思っていた学校の先生方の仕事が繁雑になった。公民館の独自性など一向伸びなくなった。地教委の事務は満足にできるものは少い、といったおかしなことになってしまった。

どうも変だ!!　南魚の地は貧しいもの達の集りだから先進地の方々には凡て及ばないのでこんな混乱を来たしているのかもしれないが、とにかく二十七年度まであった専任館長が一人もなくなり、専任主事が三名あったのがみな兼任に格下げされたり、専任書記は一人もなくなった。

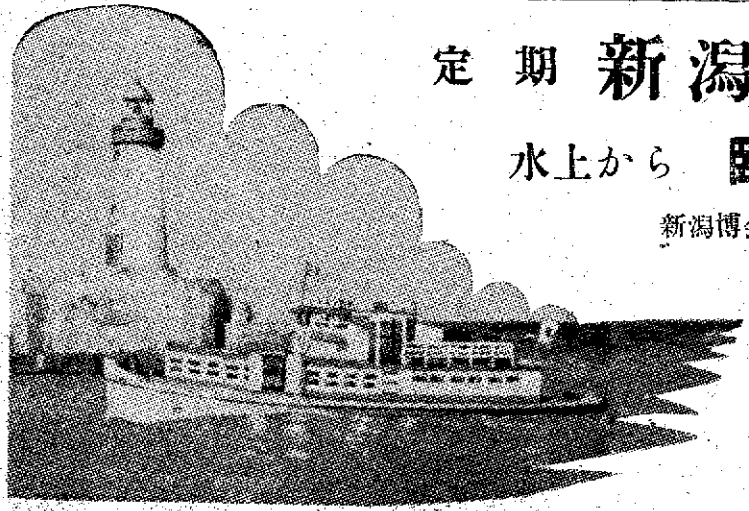
人にあり!!と言う言葉は正にその通りと思っているが、その人を公民館はみんな失ってしまった。

さてどうしたらよいだろうか。理論と現実のことがらはなかなか理論通りに解決できなくて、いつも妥協でその日が暮れるのが生活の実際かも知れないが、然し私達はこの教委制度の理論と実際との、もんだい、今後の公民館のもんだい等もっと真剣に構想してみなくてはならぬと思う。

（南魚社教主事　若井福治）

おち穂

▲日に青葉山ほとときす初鰹（素堂）よい季節になりました。若葉のもと益々御活躍のこと存じます。▲みんなから期待されて誕生した「月報」の赤ちゃんも第四号をむかえ、ようやくハイハイが出来そうです。▲それにしても御意見や御批評というオツパイが不足がちで毎日毎日トツテモさびしいんです。赤ちゃんはみんな愛され、励まされて早く誰にも恥じない、りっぱな青年になりたいと思って日夜はりきっていますからもう少し、オツパイを下さい。▲それと一緒に毎回のことながら原稿もお送り下さるようお願いします今回なども寄稿の不足にはすっかり悩まされました。▲本号は全国から注目されている超短波問題を整理してのせました超短波実現のため御一しょに協力致しましょう。▲なお、新年度を迎えてアンケートを企画し、各公民館からの御返事を掲載致しましたが御参考になれば幸です。▲最後に今年も国庫補助金を申請するところとなり、県より既に各地方教委あてに通知を出したはずですが、たとえ雀の泪とはいえ全公民館そろって補助を受けたいものです。そんな意味から申請用紙は本会で印刷し、その注意も本号で一頁をさきました。（桜井）



定期 新潟港めぐり

水上から 臨港丸で

新潟博会期中　午前11時～午后5時

（1時間ごとに万代橋下より）

団体申込臨時特発

渡辺渡船株式会社

電話（新潟）3525